

福岡県栄養改善学会抄録執筆要項

1. 抄録内容・用紙サイズ

- ◆ 抄録内容 : 「演題名」、「発表者氏名・所属」、「本文」。
- ◆ サイズ : A4版、余白（上20mm 下15mm 左20mm 右15mm）

2. 演題

- ◆ 簡潔明瞭で発表内容が読み取れること。
- ◆ 文字はMS明朝12ポイントを使用。

3. 発表者氏名及び所属

- ◆ 演題と発表者氏名・所属の間は1行空ける。
- ◆ 氏名の後に（ ）書きで所属を記入する。書き出しは左詰とする。
- ◆ 所属は次の略称を用いてもよい。

大学→大、短期大学→短大、小学校→小、株式会社→(株)

××センター→××セ、社会福祉法人→社福

- ◆ 連名の場合は発表者に○印をつける。
- ◆ 発表者、共同研究者で栄養士・管理栄養士の資格を有する方は、すべて福岡県栄養士会の会員であること。
- ◆ 共同研究者が非会員の場合は本文の最後に掲載する。
- ◆ 文字はMS明朝10.5ポイントを使用。

4. 本文

- ◆ 発表者氏名・所属と本文の間は1行空ける。
【目的】【方法】【結果】【結論】の順に具体的、且つ明確にまとめる。
- ◆ 事例・症例発表は、症例、方法、経過、結果の順に記述する。
- ◆ 文字は47字18行 但し、演題、発表者氏名及び所属がそれぞれ2行以上の場合は16行～17行となる。文字はMS明朝10.5ポイントを使用

5. その他

- ◆ 「抄録記入例」(次頁)を参照のこと。

6. 抄録の提出

- ◆ 福岡県栄養士会事務局へ メール又はUSB/CDで提出
メールアドレス : fukuei@tempo.ocn.ne.jp

提出〆切 : 6月29日(金)

日帰りドックにおけるウェスト（臍）周囲径計測の意義

○大部正代、岩下理絵、酒井陽子（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院）

【目的】日帰りドック受診者における内臓脂肪蓄積型肥満の現状と食行動について調査し、ウェスト周囲径と他の指標との関連を検討した。

【方法】対象は、2004年7月から2005年6月の1年間における当院日帰りドック受診者35歳以上の4,340名である。調査内容は、1) 身体計測：身長、体重、BMI、ウェスト（臍）周囲径、2) 臨床検査：空腹時血糖、HDL コレステロール、中性脂肪、血圧、3) 食行動調査：当院オリジナル簡易食行動調査票10項目（自記入法）とした。メタボリックシンドロームの診断により、①有病者（MS 群）、②境界領域（MS 予備群）、③ ①②に該当しない者（NS 群）の3群間で検討した。統計学的処理は、統計解析ソフト SPSS12.0J を使用し、 χ^2 検定、一元配置分散分析を行なった。

【結果】MS 群は、男性 585 人（20.4%）、女性 45 人（3.0%）、MS 予備群は、男性 795 人（27.8%）、女性 106 人（7.2%）、NS 群は、男性 1481 人（51.8%）、女性 1328 人（89.8%）であった。平均年齢は男性では、MS 群、MS 予備群、NS 群でそれぞれ 50.9 歳、50.3 歳、48.9 歳で、女性では、それぞれ 54.5 歳、51.9 歳、48.4 歳であり、男女とも NS 群、MS 予備群、MS 群の順で高値であった。MS 診断の指標は男女とも、ウェスト周囲径＋中性脂肪と血圧の2項目が該当していた。女性は総コレステロール値がやや高値（ $222 \pm 30 \text{mg/dl}$ ）を示した。食行動調査は、男女とも「かけ醤油の有無」に有意な関連がみられた（ $p < 0.01$ ）。「味付けの好み」は、男性のみ有意であった（ $p < 0.01$ ）。

【考察】50%近い男性に内臓脂肪型肥満がみられたのに対し、女性ではウェストが 90cm を越える対象者は少なかった。このことから女性の基準値に関しては、さらにサンプル数を集積しスクリーニングとして適切な基準値を検討する必要があると思われる。

【共同研究者】横川 泰（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 内分泌代謝科）